

令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：全学年

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 男女とも、ソフトボール投げにおける巧緻性・投球能力に優れている。
- 男女とも、特に上体起こしや握力など筋力を持続する能力や大きな力を出す筋力が優れている。
- 男女とも、反復横跳びのテンポよく体を動かす能力や敏捷性に課題がある。

2 取組についての評価

(1) 体育科の学習指導

①効果があった取組

- ・動きのポイントや技のコツ等を友だちとの交流を通して知ることができる表現交流活動の設定
- ・運動能力に合わせて練習内容を選択する場の設定
- ・できるようになったことを自覚させる自己評価や振り返り活動の設定

②改善を図る点

- ・俊敏性を高めるため、体育の授業の始めに準備運動としてジャンプを取り入れた体操を継続して行う。
- ・体育の授業の中で、児童が主体的に各種競技の練習に取り組むことができるような場づくりの一層の工夫を行うこと。
- ・体育の授業の中で、ビデオやタブレットなどの視聴覚機器等を活用した評価の工夫を行うとともに、運動への意欲向上を図る。

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・日常的に運動することへの意識を向上させるため、体力アップシートを活用し定期的に評価を行う。
- ・テレビやゲーム等の時間を減らし、外遊びを増やすために、家庭への呼びかけを行う。